Astemoダイアグノスティックツール
HDM-10000ソフトバージョンアップ情報

ソフトバージョンアップ手順は下記リンクをクリックして参照ください。なお、Wi-Fiでのバージョンアップは時間がかかる場合があります。
HDM-10000ソフトバージョンアップ手順

«トヨタ»Ver.8.52

■「ブレーキ/EPB」作業サポートに新型車用(60プリウス以降)の「一括学習」を追加しました。

«スバル»Ver.6.03

■車両選択後にVIN読取処理を追加しました。
■車両選択後に選択した情報を表示するように変更しました。

«日産»Ver.7.38

■サクラのシステム「EV/HEV」にアクティブテストを追加しました。

«ダイハツ»Ver.5.94

■VINコード読み取り機能を追加しました。
■HEV作業サポートに「整備モード(シャーシダイナモ用)」「整備モード(排ガス測定用)」を追加しました。

«マツダ»Ver.6.72

■下表①の対象車両に対して下表②の作業サポートを追加しました。
①対象車両

対象車両	対象車両型式
MAZDA3	BP5R, BP8R, BPFJ3R, BPEK3R
MX-30	DM8R, DMEJ3R
MX-30 RE-V	DMR8VP
ROADSTER	ND5RE, NDERE

②作業サポート追加内容

対象システム	追加した作業サポート	
DSC(ブレーキ)	●DSC横Gセンサーの初期設定	●DSC圧力センサーの初期設定
	●DSC縦Gセンサーの初期設定	●DSC圧力ヨーレートセンサーの初期設定
FSC(フォワードセンシングカメラ)	●走行エーミング	●FSC作動履歴の読み出し
	●静止エーミング	
AFS/ALM(ヘッドライト)	●ヘッドライトレベリングセンサー初期設定	●ヘッドライトレベリングアクチュエーター強制駆動
FR(フロントレーダー)	●走行エーミング	

«MERCEDES»Ver.4.08

■レーダー・センサー・コントロール・ユニット (SGR) でDTC内容を追加しました。
■データベースを更新し、新しいクラス、モデル、バリアント、および診断IDを下記①②のシステムに追加しました。
①エンジン
②MED40(ID:523) (A176, GLC253, SLK/SLC172)
■ECUマッピングテーブルにSGRを追加しました。

(次ページに続く)

«三菱ふそう»Ver.4.98

■下表の内容でデータモニターを追加しました。

対象車両	データモニターを追加したシステム
スーパーグレート(2021年モデル)	●トランスミッション
スーパーグレート(2019.5年モデル)	●トランスミッション
スーパーグレート(2017年モデル)	●トランスミッション
エアロエース/エアロクイーン(2017年モデル)	●トランスミッション
eキャンター(2023年モデル)	●モーターコントロール ●バッテリー・マネージメント・システム 1 ●バッテリー・マネージメント・システム 2 ●バッテリー・マネージメント・システム 3 ●直流充電接続ユニット ●DC/DCコンバーター ●電動パワーテイクオフシステム ●11kW交流充電器 ●車両コントロール・ユニット

■下表の内容で作業サポートを追加しました。

対象車両	対象システム	左記の対象システムに追加した作業サポート
スーパーグレート (2017、2019.5、2021年モデル)	トランスミッション	●ドライブ・オーソリゼーション・システムの認識 ●トランスミッション・バリエーション ●トランスミッションおよびクラッチの認識 ●傾斜センサーを認識します
エアロエース/エアロクイーン (2017年モデル)	トランスミッション	●コントロール・ユニット・ロックを解除します ●トランスミッション・バリエーション ●トランスミッションおよびクラッチの認識 ●傾斜センサーを認識します
スーパーグレート (マニュアル・トランスミッション搭載車) (2017、2021年モデル)	CPC	●クラッチの認識(マニュアル・トランスミッション搭載車適応) ●インプットシャフトスピード学習(マニュアル・トランスミッション搭載車適応)

«日野»Ver.4.20

■データベースのバージョンアップを行い、2025年2月までの車両の故障コード読取およびクリア、データモニターに対応しました。

■日野診断ソフトを選択後に表示されるメニューを下記の様に変更しました。

「全ての機能」→「DX2対象車両」

「診断、作業サポート」→「DX3対象車両」

※1:メニュー表示順が今回入れ替わり、「DX3対象車両」が上部になります。

※2:今回のバージョンアップ対応は「DX3対象車両」のみ対象です。「DX2対象車両」の変更は御座いません。

※3:基本的に「DX3対象車両」を選択いただき、エラーが出た時や古い車両の一部を診断する時に「DX2 対象車両」を選択してください。

«いすゞ»Ver.5.90

■ 自動検出の対象車両を更新しました。

■エルフミオ(2023年モデル)、SKW477(2025年モデル)に対応しました。

■2025年モデルの車両を対象に下表の内容で自己診断とデータモニターを追加しました。

対象システム	自己診断	データモニター
TCCM:トランスファーケースコントロールモジュール	○	○
BBCC:架装CANコンバーター	○	
EPCU:E PTO Control Unit	○	○
EBS (Wabco)	○	○
iAPU:Electrical Air Dryer	○	
ESCM:Electric Compressor	○	

○＝サポート　空欄＝未サポート